

中島孝幸教授 略歴

学 歴

昭和56年3月 北海道大学文学部哲学科 卒業
 昭和63年3月 大阪大学大学院文学研究科博士前期課程日本学専攻 修了
 平成元年3月 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程日本学専攻 退学

甲南学園における主な経歴

平成8年4月1日～
 平成13年3月31日 甲南大学 助教授
 平成13年4月1日～
 現在 甲南大学 教授

主な役職等

平成14年4月1日～平成15年3月31日	甲南大学文学部日本語日本文学科主任
平成22年4月1日～平成23年3月31日	甲南大学文学部日本語日本文学科主任
平成26年4月1日～平成27年3月31日	甲南大学文学部日本語日本文学科主任
平成31年4月1日～令和2年3月31日	甲南大学文学部日本語日本文学科主任
平成23年4月1日～平成26年3月31日	甲南大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻主任
平成27年4月1日～平成27年7月14日	甲南大学国際交流センター参与
平成27年7月15日～平成30年3月31日	甲南大学国際交流センター副所長

主な委員・会議等

学長候補者選挙管理委員会	甲南大学と甲南高等学校・中学校との協議会
教員資格審査委員	甲南大学とトゥレーヌ甲南学園高等部との協議会
教務部委員会	人文科学研究科委員会
広域副専攻センター代表専門委員会	総合研究所委員会
公開講座委員会	大学院委員会
合同教授会	図書館関係実施委員会
国際交流センター運営委員会	図書館商議員
国際交流センター協議会	入試制度検討委員会
国庫助成委員会	

賞 罰

平成28年4月21日 永年勤務による表彰（20年表彰）

中畠孝幸教授 業績一覧

論文

- 「外国人の日本語行動」『日本語教育』49 59-73 (田中望・古川ちかしと共著) 1983年2月
- 「日本語における三人称の照応表現－中国語との対照」『月刊言語』14-1 226-231 1985年1月
- 「「という」の機能について」『阪大日本語研究』2 43-55 1990年3月
- 「不確かな判断-ラシイとヨウダ-」『三重大学日本語学文学』1 25-33 1990年6月
- 「不確かな様相-ヨウダとソウダ-」『三重大学日本語学文学』2 26-33 1991年6月
- 「不確かな伝達-ソウダとラシイ-」『三重大学日本語学文学』3 15-24 1992年5月
- 「確かさの度合い-カモシレナイ・ニチガイナイ-」『三重大学日本語学文学』4 13-20 1993年5月
- 「連体修飾と動詞の形」『三重大学日本語学文学』5 27-36 1994年5月
- 「現代日本語の連体修飾節における動詞の形について-ル形・タ形とテイル形・テイタ形-」『人文論叢 (三重大学人文学部文化学科研究紀要)』12 23-32 1995年3月
- 「ダケニとダケアッテ-通年依存の形式」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法 (下)』(くろしお出版) 521-530 1995年10月
- 「引用節内の述語の形について」『甲南大學紀要文学編』103 83-95 1997年3月
- 「日本語の推量表現について-ダロウとマイ-」『甲南大學紀要文学編』107 27-42 1998年3月
- 「当然を表すモダリティ形式について-ハズダとベキダ-」『甲南大學紀要文学編』111 15-28 1999年3月
- 「結果を表す構文について-テアルとラレテイル-」『三重大学日本語学文学』10 45-54 1999年6月
- 「目的を表す構文について-ヨウニとタメニ-」『甲南大學紀要文学編』115 18-29 2000年3月
- 「文法研究と日本語教育－動詞の意志性を中心に」『表現研究』72 3-10 2000年10月
- 「日本語のモダリティ形式とその教育について」『日本語教育論集』5 (東北師範大学出版社) 21-27 2000年11月
- 「必要を表す構文について-「勝たなければならない」をめぐって-」『甲南大學紀要文学編』123 17-28 2002年3月
- 「複合辞「として」について－中国語との対照－」(楊佳と共著)『複合辞研究の現在』藤田保幸・山崎誠編 (和泉書院) 271-283 2006年11月
- 「誤用文の添削を通して見た日本語習得上の問題点－日台の学生調査から－」『甲南大学総合研究所叢書』102 25-30 2009年2月
- 「日本語と中国語の根拠性 (エビデンシャルティ) について－「らしい」「ようだ」「そうだ」と「好像」を中心に」『中国語話者のための日本語教育研究』4 18-28 2013年7月
- 「連体修飾構造中の形式的な「の」「こと」について」藤田保幸編『形式語研究論集』(和泉書院) 189-203 2013年10月
- 「日本語教育海外実習の意義と課題－甲南大学の台湾実習」『甲南大學紀要文学編』167 15-22 2016年3月
- 「意図性を表す副詞「わざと」について」『甲南大学総合研究所叢書』133 1-8 2018年2月
- 「形式名詞「つもり」と意志表現－中国語と対照して－」藤田保幸・山崎誠編『形式語研究の現在』(和泉書院) 501-514 2018年5月
- 「二字漢語の日中同形語について－「刺激」を例に」(王超文と共著)『甲南大學紀要文学編』169 3-7 2019年3月

事典

- 『新版日本語教育事典』大修館書店 2005年10月, 項目「対象を表すヲとガ」「目的地を表すニとヘ」「格助詞の

用法」「受動文の種類」「受動文の諸特徴」「使役」「使役と他動詞」

『日本語文法事典』大修館書店 2014年7月, 項目「連体修飾構造(連体句)」

『日本語大事典』朝倉書店 2014年11月, 項目「後置詞」「比況表現」

その他

『日本語初歩練習帳』(村崎恭子他と共著) 国際交流基金 1985年7月

『日本語初歩 LL用練習テープ』(村崎恭子と共同録音) 北海道ビデオサービス 1986年

「留学生教育について—三重大大学の例から」『日本の科学者』25-12, 44-46 1990年12月

『異文化の共存を求めて(シンポジウム「外国人にとって住みよい町, 大学とは?」報告書)』(児玉克哉と共著) 三重大学異文化交流会 1994年3月

「異文化理解教育を考える—留学生日本語スピーチ大会を通して」『大学教育研究—三重大学授業研究交流誌』4 103-108 1996年3月

「身辺からの「大学の国際化」」『学問が情報と呼ばれる日』(社会評論社) 99-103 1997年1月

「間違いやすい日本語の類似表現」(1)~(16)『神戸日本語教育協議会ニュース』No. 1~No. 16 1998年7月~2006年12月

「甲南大学の海外短期プログラム—日本語教育実習とエリアスタディーズ」『ウェブマガジン留学交流』80 15-19 (日本学生支援機構) 2017年11月

発表

「日本語の推量表現について—ラシイとヨウダ」(平成元年度日本語教育学会大会, 1989年10月7日)

「連体修飾と動詞の形について」(第4回中部日本日本語学研究会, 1993年5月8日)

「日本語のモダリティとその教育について」(中国東北師範大学赴日留学生予備学校日本語教育国際シンポジウム, 1999年8月7日)

「文法研究と日本語教育」(第37回表現学会全国大会シンポジウム, 2000年6月4日)

「文法と文型」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2001年10月4・11・18日)

「文法と文型」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2002年10月15・22・29日)

「文法と文型」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2003年10月7・14・21日)

「誤用から考える」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2004年10月7・14・21日)

「外国人に分かりにくい類義表現」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2005年10月20日, 12月8・15日)

「外国人の誤用から考える日本語」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2006年10月10日, 11月21・28日)

「逆接を表す「が」「けれども」「のに」などの習得について」(第5回中国語話者のための日本語教育研究会, 2006年12月9日)

「日本語教育の文法総まとめ」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2008年10月21・28日, 11月4・11・18・25日, 12月2・9・16日)

「類義表現」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2009年10月13・20・27日)

「意図性の有無を表す副詞について—「わざと」など—」(東海大学日本語文学系国際学術研討會, 2010年5月1日)

「外国人の作文から考える日本語」((財)神戸学生青年センター・六甲奨学基金, 実践・日本語学習支援講座, 2010年10月18・25日, 11月1日)

「日本語と中国語の根拠性(エビデンシャリティ)について—「らしい」「ようだ」「そうだ」と「好象を中心に」(第20回中国語話者のための日本語教育研究会, 2011年10月7日)

「時に関する副詞の日中対照—「最近」「このごろ」「もうすぐ」「まもなく」「しばらく」「当分」など—(第28回中国語話者のための日本語教育研究会, 2014年3月22日)

「甲南大学の日本語教員養成—台湾での実習を中心に—(KONAN プレミア・プロジェクト 2nd 「日本語教員養成ステップアップ」シンポジウム「日本語教員養成の現在と未来」, 2016年10月29日)

「ボランティア日本語教室「あおぞら」について」(兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(G-Navi)教職員向けセミナー・情報交換会「留学生がつなぐ大学・地域—留学交流」, 2017年1月13日)

「台湾の異人館」(2017年度甲南大学春期公開講座「エリアスタディーズで探るアジアの今」, 2017年5月27日)

「甲南大学での日本語教員養成—正課の実習とその他の活動—(第4回日振協近畿地区教育集会, 2017年6月24日)